

# 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の ソーシャルワークの定義（意識）

## 定義

ソーシャルワーク（社会福祉実践）の専門職は、人間がよりよく生きていけるようになることを目指します。社会に問題があれば社会を変え、人間関係に問題があればその問題を解決し、人々が本来持っている力がうまく出せるようにします。ソーシャルワークは、人の行動と社会のシステム（仕組みと働き）に関する理論をうまく使って、人々が社会や環境と互いに影響しあうところに働きかけます。人権と社会正義を大切にすることは、ソーシャルワークの一番の基本です。

## 解説

ソーシャルワークは、人々とその環境の間の複雑な相互作用に働きかけます。そこでは、すべての人々が持っている可能性が実現できるようにし、そのことでその人の生活が豊かになって、うまく行かなくならないようにすることを目指します。専門職であるソーシャルワーカーが特に大切にすることは、問題の解決とそのために必要な変化です。ですから、ソーシャルワーカーは、個人・家族・社会等を変える役割を果たします。ソーシャルワークは、価値、理論、実践がすべて相互に関連します。

## 価値

ソーシャルワークは、人間は平等であると考え、国が国民を中心にしていこう考えを基礎にしています。ソーシャルワークの価値は、すべての人が平等であること、価値ある存在であること、そして尊厳を有していることを認めて、これを尊重します。ソーシャルワーク実践は、100年以上前から、人間にとって必要なことを充足し、人間の力が発揮できるようにしてきました。人権と社会正義は、ソーシャルワーク活動を必要とします。ソーシャルワーク専門職は、不利益を被っている人たちと協力して、貧困をなくすように努めてきました。また、傷つきやすく抑圧されている人々を助け、社会で当たり前のように生活できるように努めてきました。

## 理論

ソーシャルワークは、実際に証明できる知識と方法を基礎におきます。人間と環境の間の相互作用は非常に複雑ですが、それらは生理的、心理的、社会的な要因によって影響を受けます。そして、それぞれに影響を与え、変えることができます。ソーシャルワーク専門職は、複雑な状況を科学的に分析し、個人・組織・社会などを変えるために、さまざまな理論を有効に使います。

## 実践

ソーシャルワークは、社会にある障壁、不平等、不公正に働きかけます。そして、個人の問題や社会的な問題だけでなく、危機的な状況や緊急事態にも対応します。ソーシャルワークは、人と環境を全体的なものとして捉え、さまざまな方法を利用した実践を行います。それらは、個人に焦点をおいた心理社会的な対応から、社会政策、社会計画、社会開発などにも及びます。具体的には、サービスや社会資源を利用できるような援助、カウンセリング、臨床ソーシャルワーク（ケースワーク）、グループワーク、コミュニティワーク等です。

[2000年7月27日モントリオールにおける総会において採択された  
定義の日本語訳を長崎和則がわかりやすく意識したものです]

Copyright (C). 2005. 長崎和則. All Rights Reserved.